

2026年6月期 第1四半期

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821

目 次

1. 2026年6月期 第1四半期 決算の概要……………	3
2. セグメント別決算概要……………	11
3. 2026年6月期 第1四半期 TOPICS ………	16
4. 2026年6月期 業績予想……………	21
5. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART II - ………	27
6. ご参考 当社の役割と責任(パーパス) ………	36
7. 会社概要……………	40

1

2026年6月期 第1四半期 決算の概要

決算の概要

- 中期経営計画「グローバルビジョン∞ -PARTⅡ-」は3年目に入り、
第1四半期の連結ベースの業績は順調なスタートとなった。
- ソーシャルインフラ事業のうち、公共事業関連の土木資材については、
沖縄も含めて好調。
- ソーシャルインフラ事業の子会社では、前田工繊産資が順調な半面、
水産加工業については販売単価下落の影響等により前年同期の実績を下回った。
- インダストリーインフラ事業のうち、BBS事業は前年同期比マイナスも
ほぼ計画通りとなった。

決算ハイライト

過去最高

売上高

18,742 百万円

通期計画
進捗率27.8%

過去最高

粗利益

6,896 百万円

前期比
+12.1%

営業利益

3,386 百万円

通期計画
進捗率30.8%

EBITDA

4,235 百万円

通期計画
進捗率28.8%

過去最高

経常利益

3,701 百万円

通期計画
進捗率33.7%

過去最高

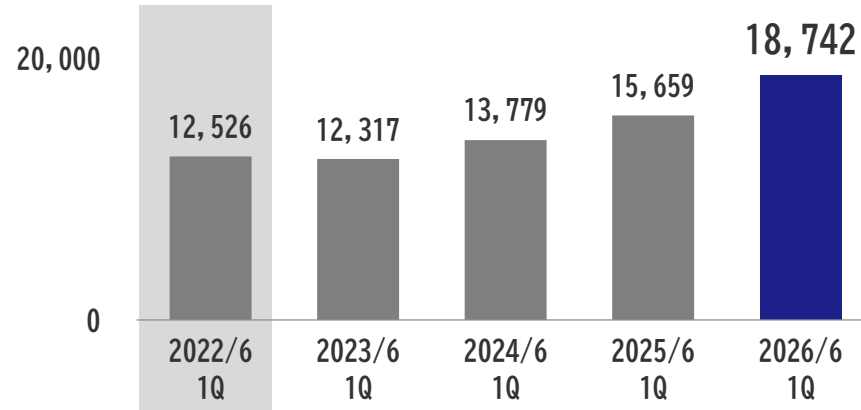
四半期純利益

2,577 百万円

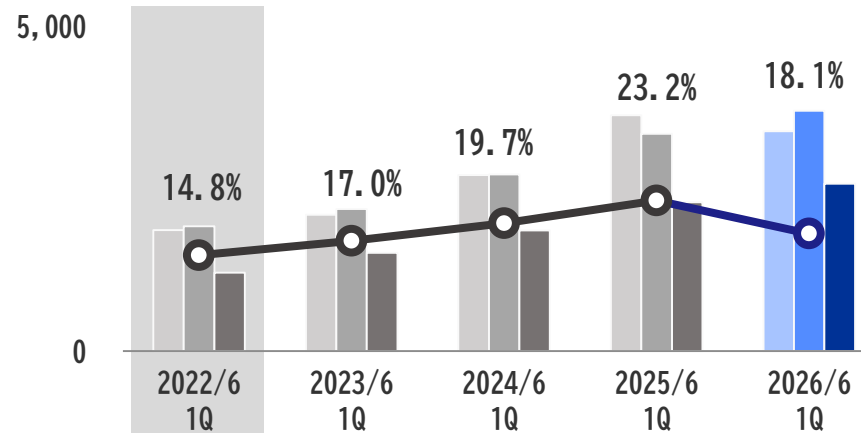
通期計画
進捗率33.9%

連結決算サマリ

売上高



利益



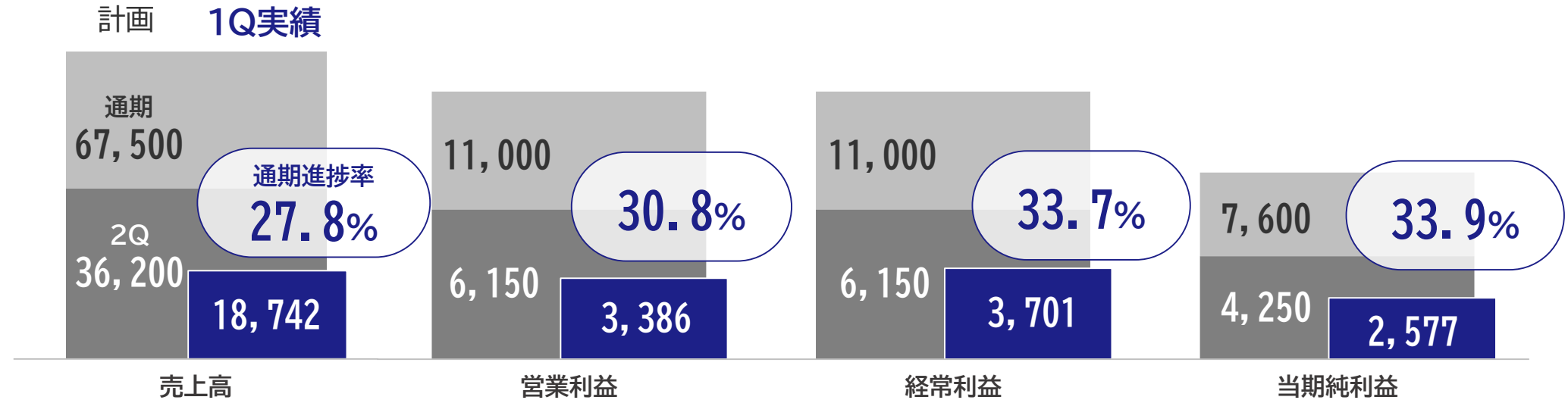
■ 営業利益
 ■ 経常利益
 ● 営業利益率
 ■ 四半期純利益

	2025年6月期 1Q		2026年6月期 1Q		
	実績	売上比	実績	売上比	増減率
売上高	15,659	—	18,742	—	19.7 %
営業利益	3,632	23.2 %	3,386	18.1 %	△6.8 %
E B I T D A	4,444	28.4 %	4,235	22.6 %	△4.7 %
減価償却費	812	5.2 %	830	4.4 %	2.1 %
経常利益	3,347	21.4 %	3,701	19.7 %	10.6 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,294	14.7 %	2,577	13.8 %	12.3 %



※決算期変更により、2022/6期 第1四半期の業績の期間は9/21～12/20です。

計画と実績値との比較



2026年6月期	1Q実績	2Q計画		通期計画	
		金額	進捗率	金額	進捗率
売上高	18,742	36,200	51.8 %	67,500	27.8 %
営業利益	3,386	6,150	55.1 %	11,000	30.8 %
E B I T D A	4,235	8,000	52.9 %	14,700	28.8 %
経常利益	3,701	6,150	60.2 %	11,000	33.7 %
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,577	4,250	60.6 %	7,600	33.9 %

※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

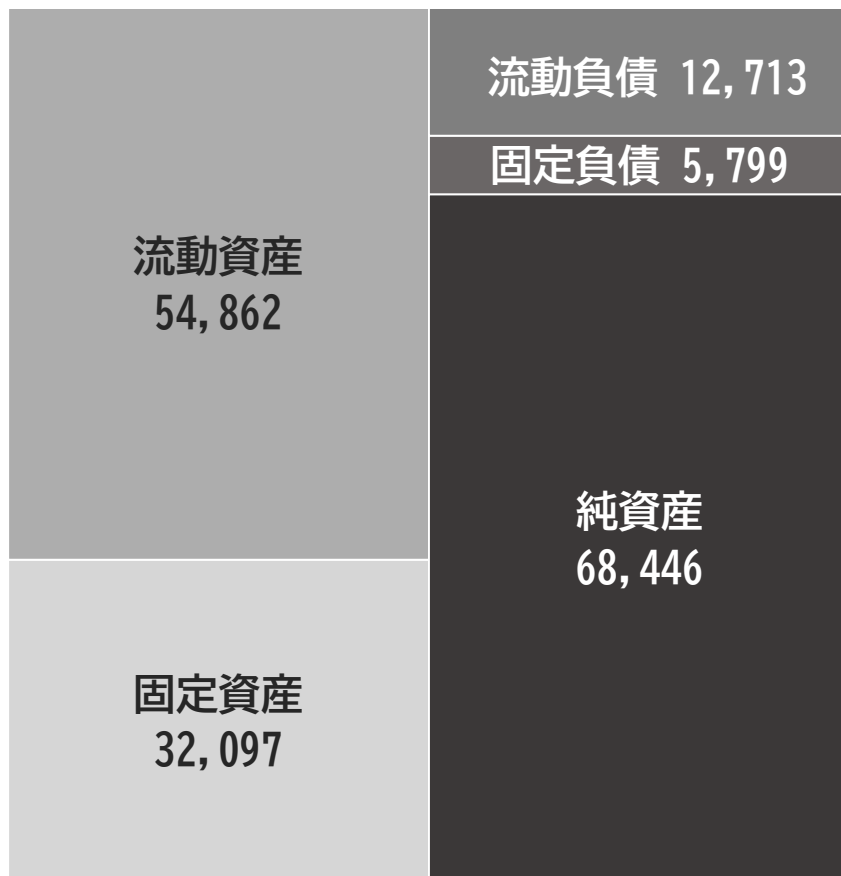
営業利益の増減要因



財政状態

(単位:百万円)

総資産 86,959百万円

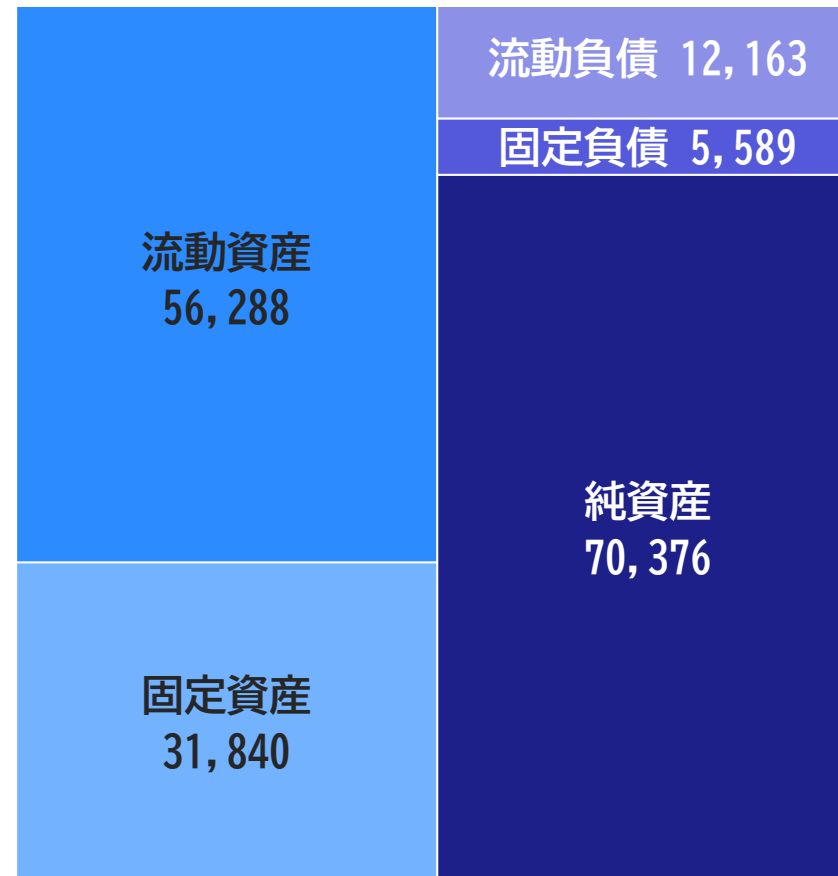


資産

負債・純資産

2025/6 期末

総資産 88,129百万円

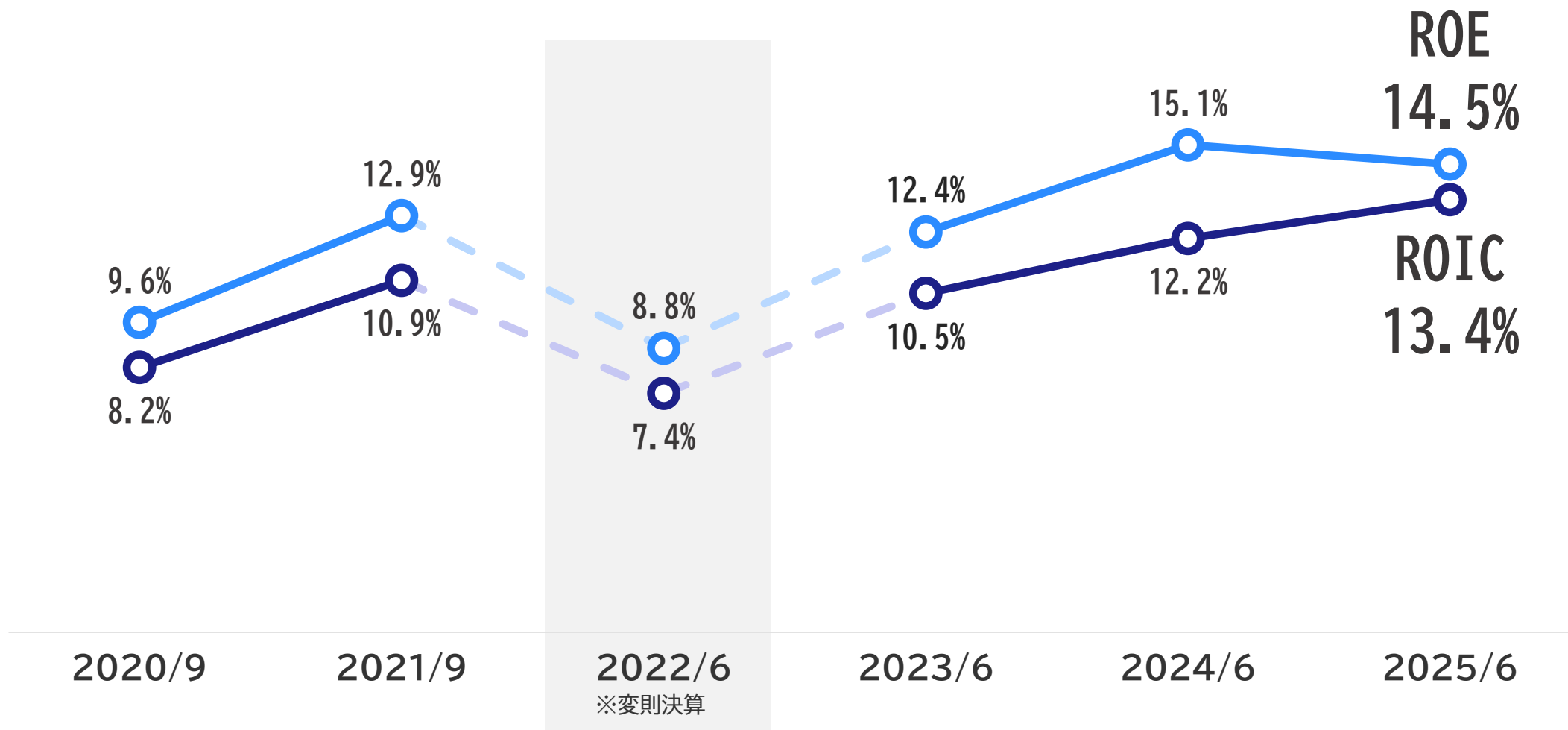


資産

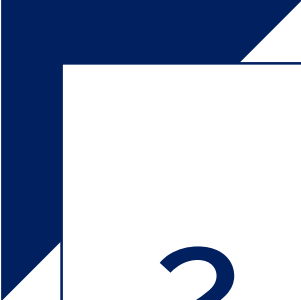
負債・純資産

2026/6 1Q末

経営指標 – ROE・ROIC推移



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。



2

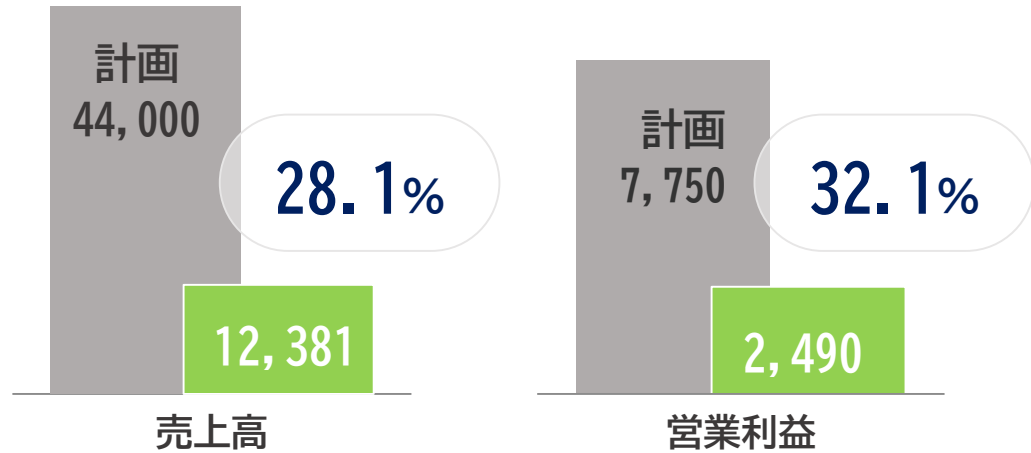
セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

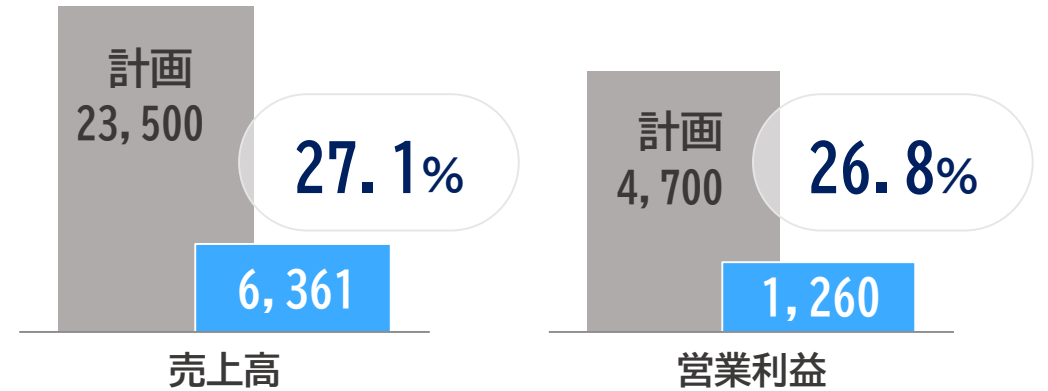
		2025年6月期 1Q実績			2026年6月期 1Q実績			
		金額	営業利益率	構成比	金額	営業利益率	構成比	増減率
売上高	ソーシャル インフラ事業	8,849		56.5%	12,381		66.1%	39.9%
	インダストリー インフラ事業	6,810		43.5%	6,361		33.9%	△ 6.6%
	合 計	15,659		100.0%	18,742		100.0%	19.7%
営業利益	ソーシャル インフラ事業	2,069	23.4%	52.6%	2,490	20.1%	66.4%	20.3%
	インダストリー インフラ事業	1,863	27.4%	47.4%	1,260	19.8%	33.6%	△32.4%
	小 計	3,933	—	100.0%	3,750	—	100.0%	△ 4.7%
	全 社 ・ 消 去	△ 301	—	—	△ 364	—	—	—
	合 計	3,632	23.2%	—	3,386	18.1%	—	△ 6.8%

セグメント別計画に対する進捗率

ソーシャルインフラ事業



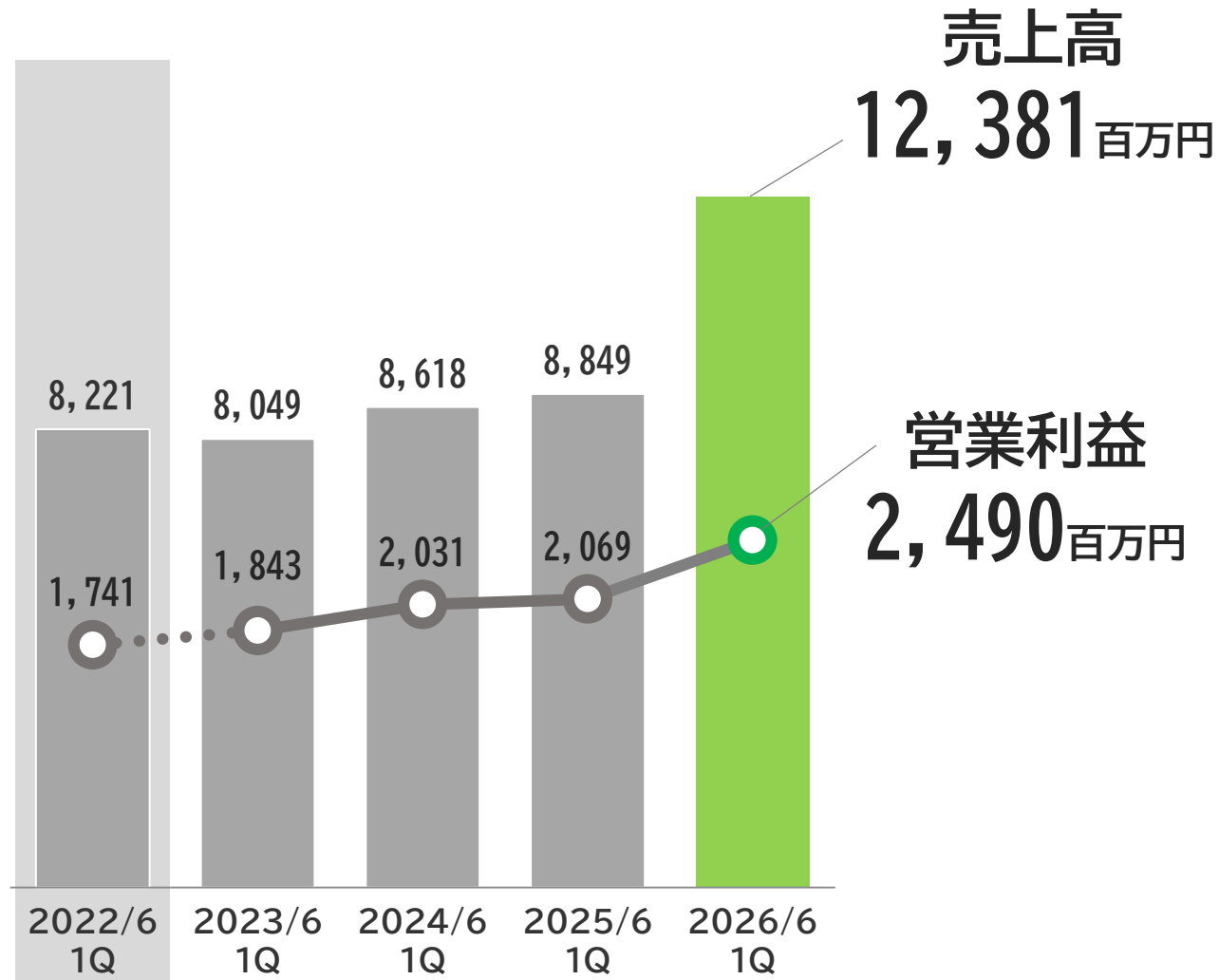
インダストリーインフラ事業



2025年6月期

2025年6月期		売上高	1Q実績		計画(通期)		営業利益	1Q実績		計画(通期)	
			1Q実績	金額		進捗率		1Q実績	金額		進捗率
ソーシャルインフラ事業		12,381	44,000	28.1 %	2,490	7,750	32.1 %				
インダストリーインフラ事業		6,361	23,500	27.1 %	1,260	4,700	26.8 %				
全社・消去					△364	△ 1,450	—				
合計		18,742	67,500	27.8 %	3,386	11,000	30.8 %				

セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



プラス要因

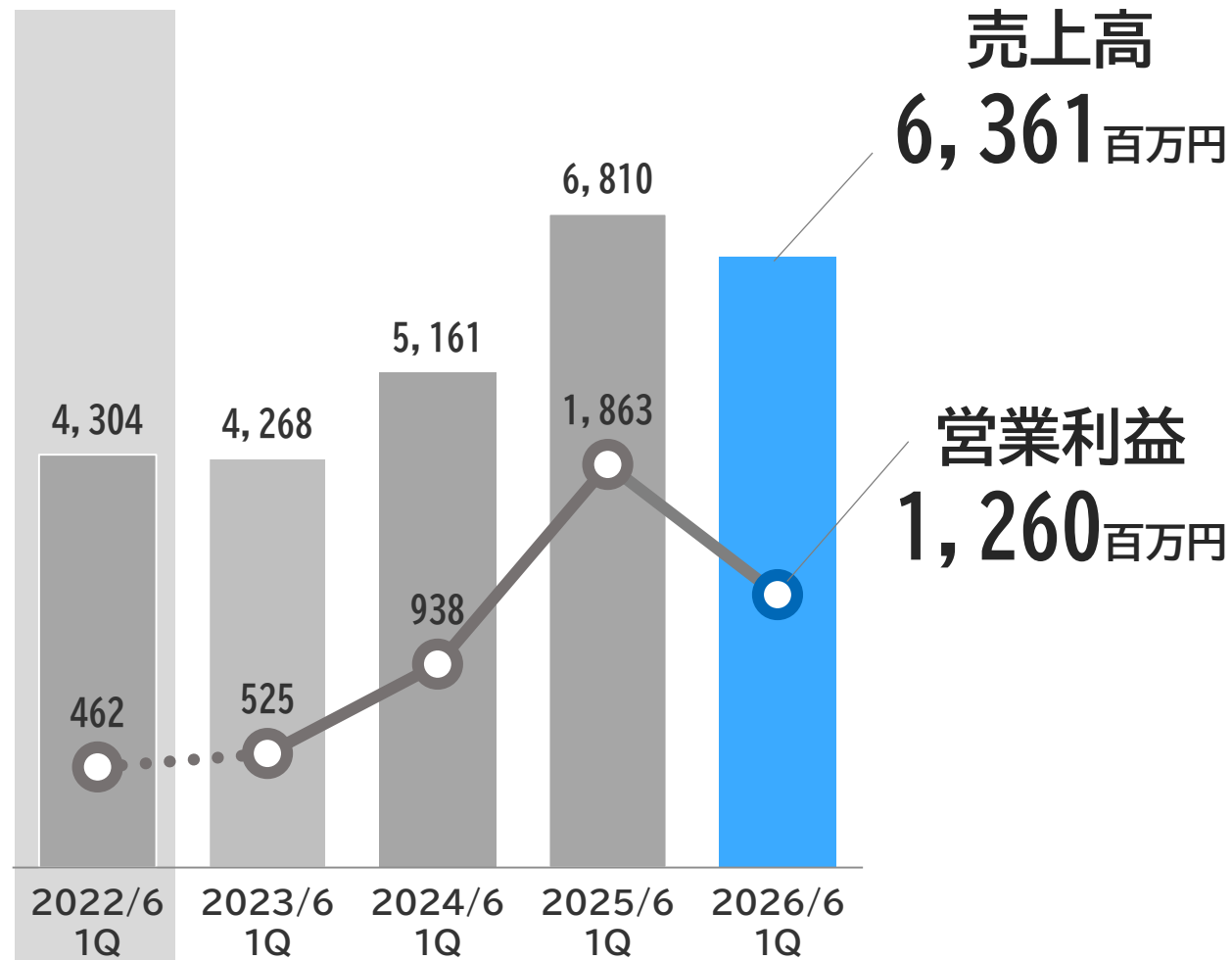
- 主力の土木資材事業の業績は順調に推移した。特に海洋、河川、構造物メンテは好調。
- 地域的には、九州・沖縄地区が前期に引続き順調に推移している。
- 子会社の業績も概ね順調に推移し、前期にグループ化した前田工織産資、犀工房も業績向上に寄与した。

マイナス要因

- 能登震災復興関連は進捗が鈍いが、今後に期待できる。
- 水産加工業では、単価の低迷により、前年同期比マイナスとなった。

※2022/6期 第1四半期の業績の期間は9/21～12/20です。

セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

- BBS事業は、ほぼ計画通りに推移。新規設備投資中であり、2026年5月に完成予定・・・生産キャパの増加を図る。
- 未来コーセンは、半導体市況の回復を受けワイピングクロス事業が順調。

マイナス要因

- BBSドイツは、前期の大型案件の反動減により前年同期の実績を大きく下回ったが、ほぼ計画通りであった。

※2022/6期 第1四半期の業績の期間は9/21～12/20です。

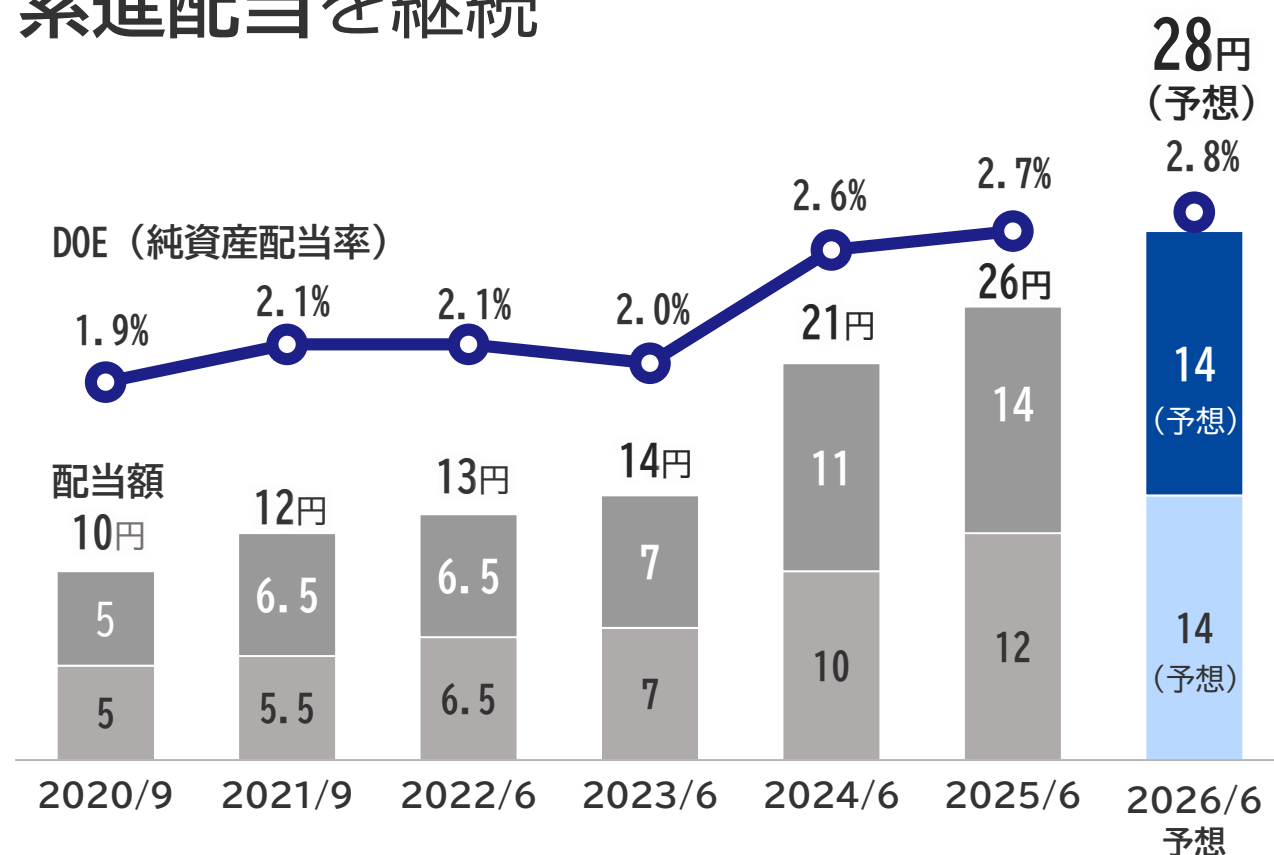


3

2026年6月期 第1四半期 TOPICS

配当政策

累進配当を継続



2026/6期

中間予想 14円 (前年比+2円)

期末予想 14円 (前年比+0円)

通期予想 28円 (前年比+2円)

※1 : 2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

※2 : 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2024年6月期以前の配当額は、株式分割の影響を考慮して記載しております。

M&A戦略の紹介

▶ 前田工織Webサイトに「M&A」ページを開設

当社の成長戦略の1つである
「M&A」についてわかりやすくご紹介

- ・なぜM&Aなのか
- ・選定基準と検討プロセス
- ・前田工織のシンプルPMI



<https://www.maedakosen.jp/ma/>



※PMI：M&A後の統合プロセス

未来のアグリ クマ対策の取組み

▶「クマ対策支援チーム」創設

課題



- ・ 学校、公園などの施設管理が急務
- ・ クマ対策の十分な知識がない…



支援チーム



獣害対策のノウハウを活かし、
クマ対策に特化したサポートを提供

「人を守る」獣害対策を支援する取組みを推進

防除柵の無料診断サービス (既存柵の改善提案)



[クマ対策をプロがサポート！
防除柵無料診断も](#)

Webサイトにクマ対策特集ページを開設 (クマ対策情報の発信)



[アーバンベア対策
\(クマから人を守る\)](#)



クマ撃退製品の販売 熊撃退スプレー「熊一目散」



海洋ごみ対策製品の開発

▶ カキ養殖筏用「耐候性フロートカバー」

課題



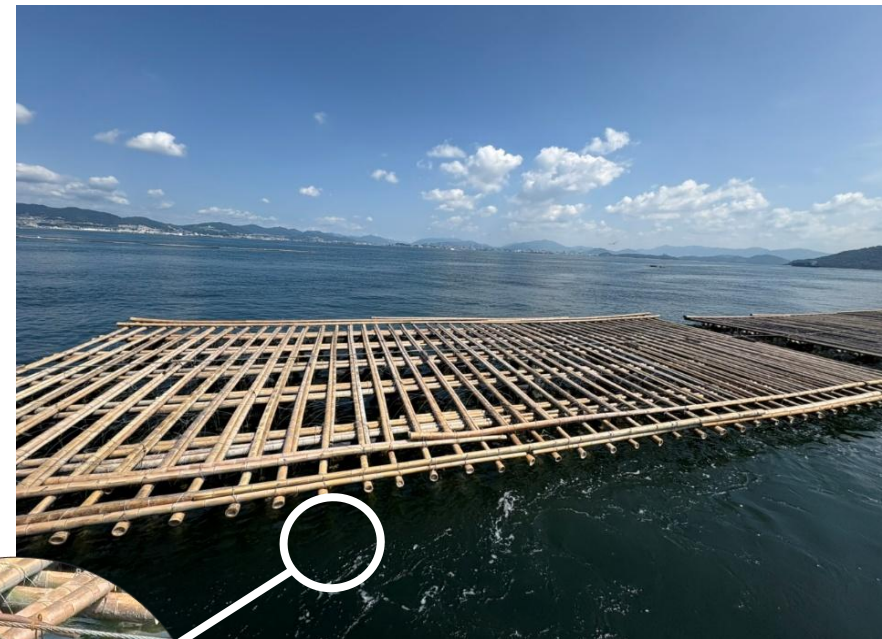
紫外線などを原因に
筏用「大型浮き」が劣化→海へ流出
海洋ごみによる生物多様性の損失

カバーに「耐候性大型土のう」技術を活用

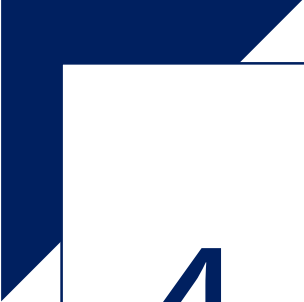
海の生態系を保全する
長寿命なフロートカバーを開発



高い耐候性と強度で
生地や縫製部の破断による浮きの露出を防止



広島県海域で
フロート1,000本に取付



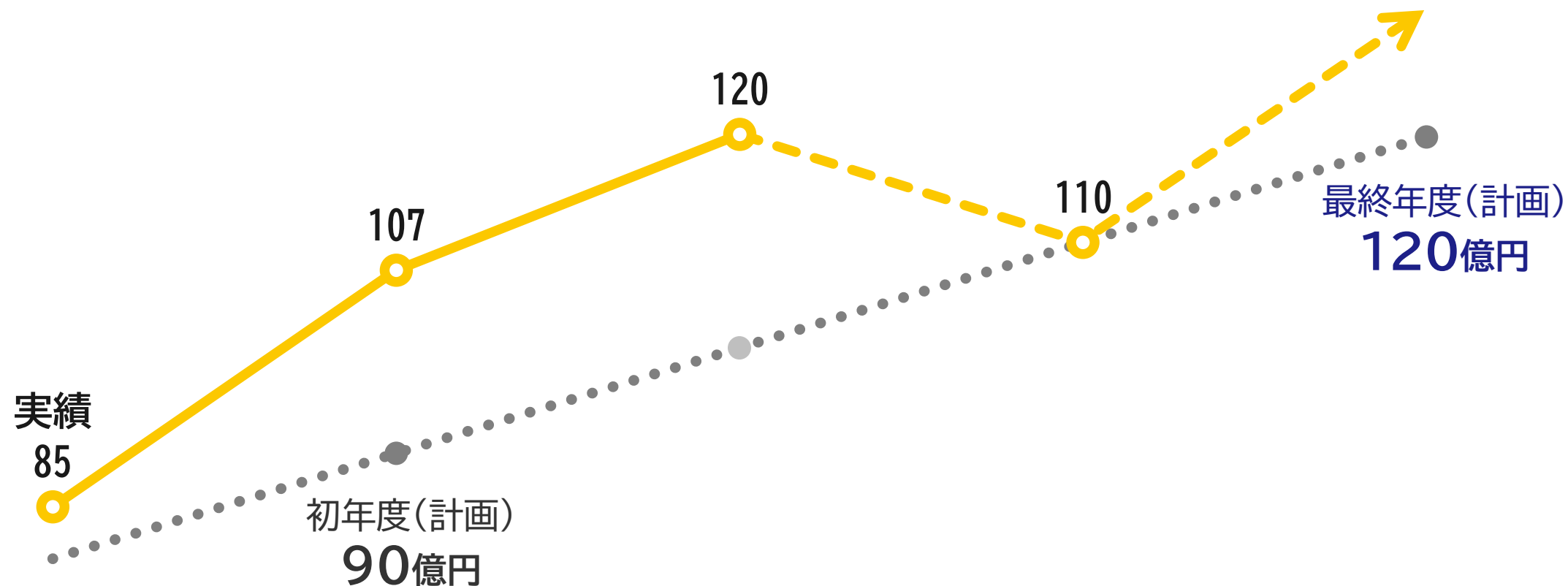
4 2026年6月期 業績予想

業績予想(連結)

	2025年6月期 実績		2026年6月期計画			
	2Q	通期	2Q		通期	
			金額	増減率	金額	増減率
売上高	32,530	64,108	36,200	11.3 %	67,500	5.3 %
営業利益	7,152	12,026	6,150	△14.0 %	11,000	△8.5 %
E B I T D A	8,800	15,515	8,000	△9.1 %	14,700	△5.3 %
経常利益	7,224	12,259	6,150	△14.9 %	11,000	△10.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,939	9,489	4,250	△14.0 %	7,600	△19.9 %

現在の中計における営業利益の推移と見込みについて

(単位:億円)



2023/6

2024/6

2025/6

2026/6 (計画)

2027/6 (目標)

グローバルビジョン∞ -PART II-

業績予想(セグメント別)

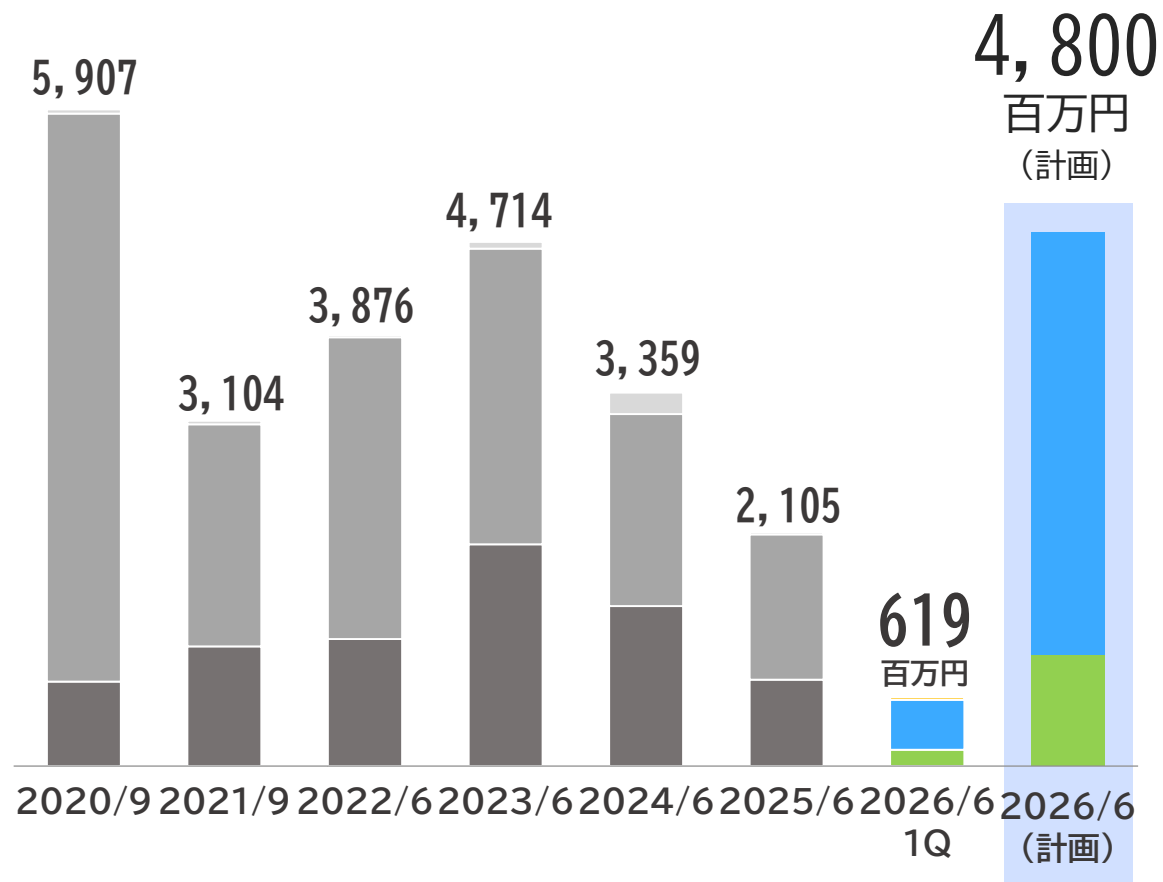
		2025年6月期 通期実績	2026年6月期	
			通期計画	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	36,395	44,000	20.9%
	営業利益	7,355	7,750	5.4%
インダストリー インフラ事業	売上高	27,713	23,500	△15.2%
	営業利益	6,010	4,700	△21.8%
全社・消去	営業利益	△1,339	△1,450	—
合 計	売上高	64,108	67,500	5.3%
	営業利益	12,026	11,000	△8.5%

設備投資額・減価償却費予想

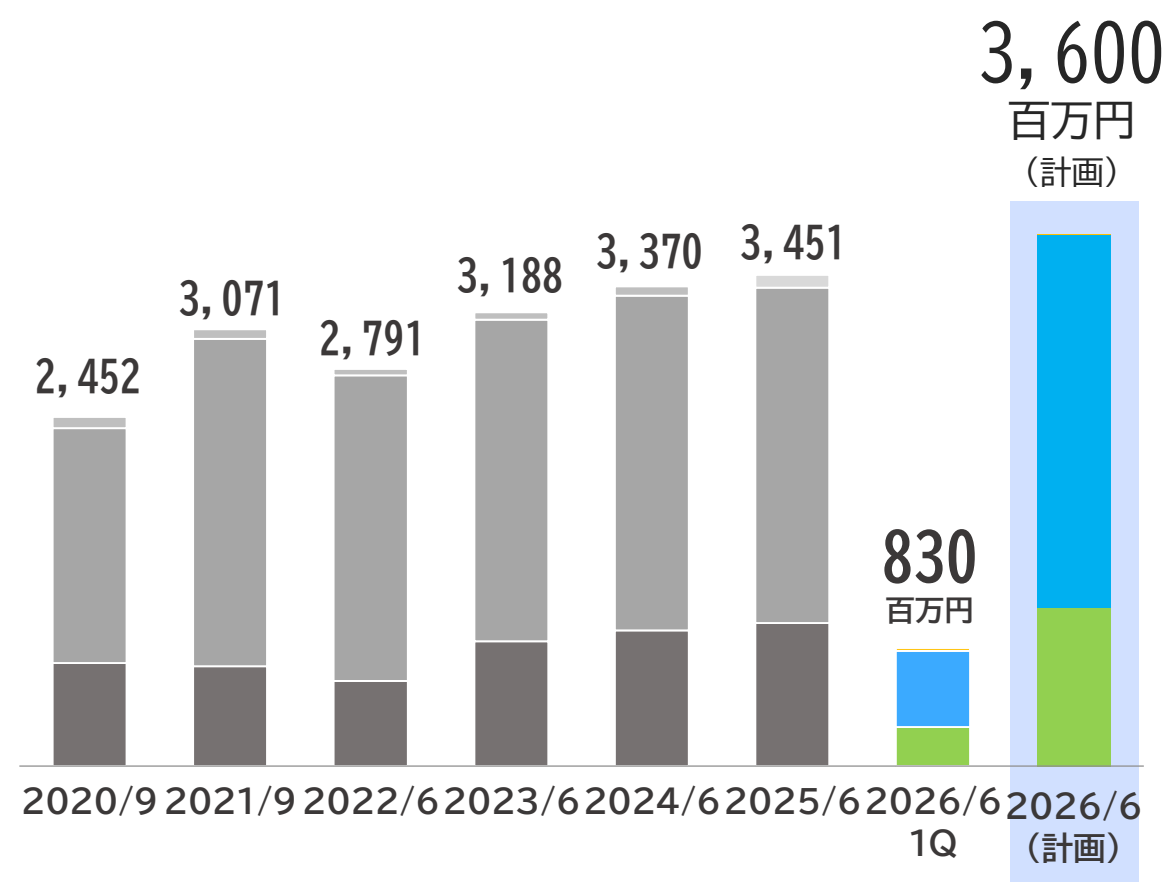
(単位:百万円)

■ ソーシャル
■ インフラ事業
■ インダストリー
■ インフラ事業
■ 全社

設備投資額

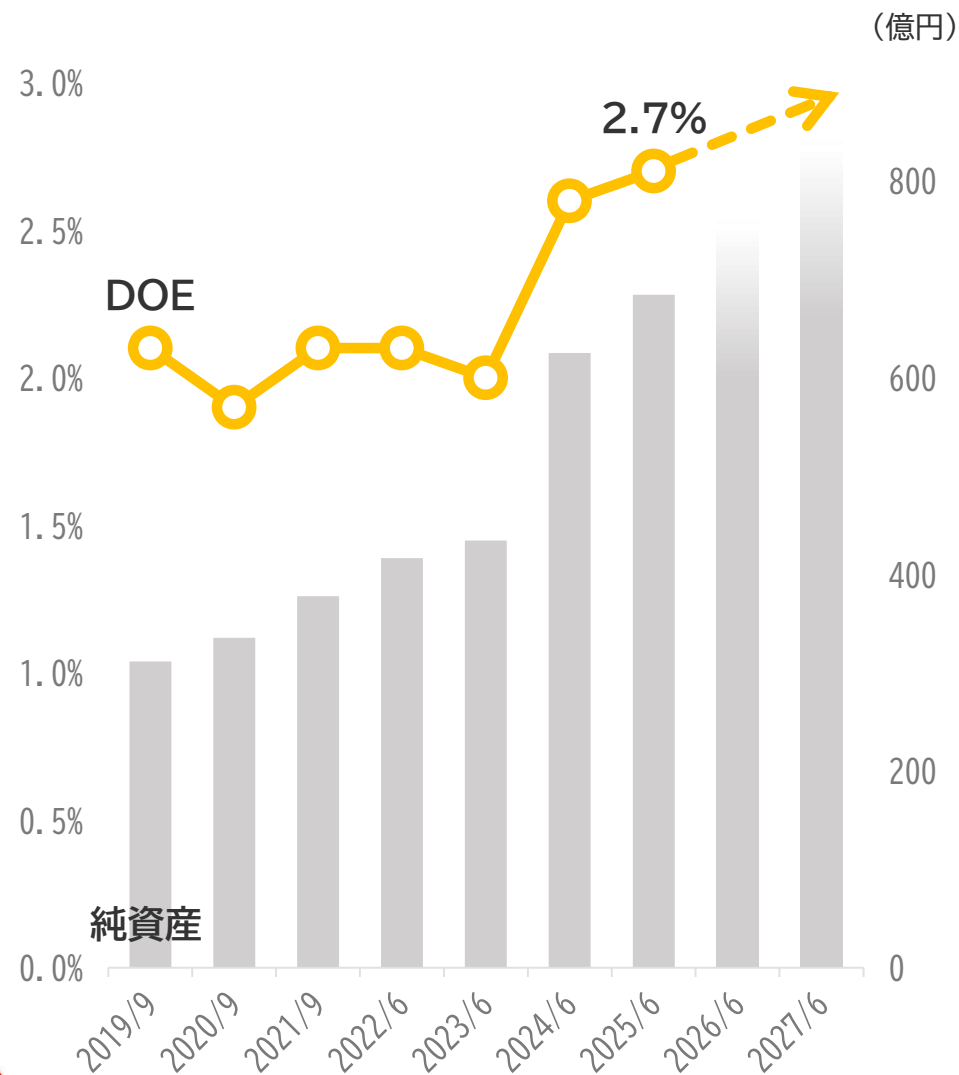


減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

株主還元策に関する基本方針



株主に対する利益還元
＝ 「経営の重要課題」の一つ

具体的な方針

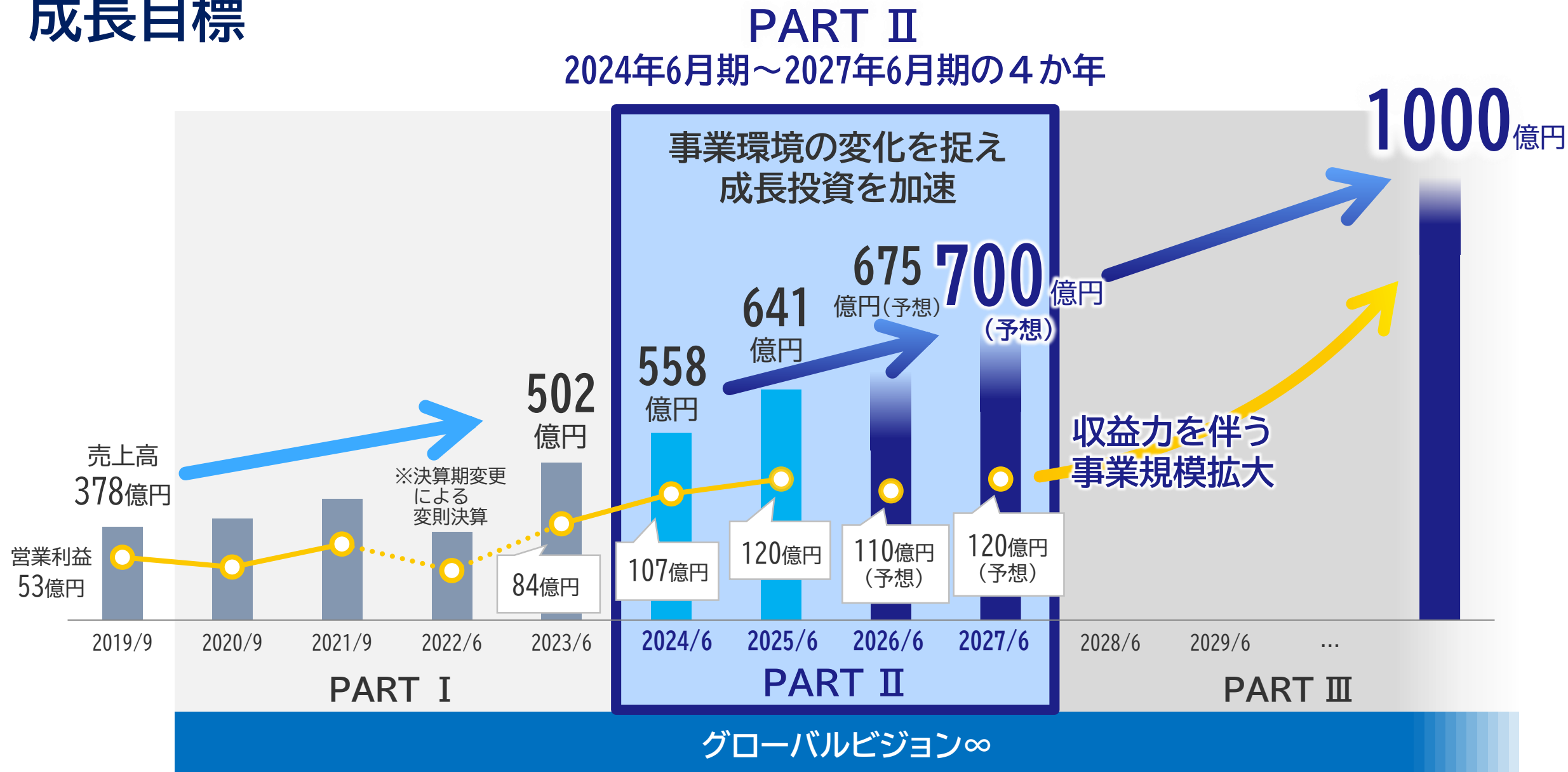
- ① 累進配当の継続
上場以来、累進配当を実施
- ② 剰余金の配当率
DOE(純資産配当率)を主要指標とする
・・・当期純利益の変動が大きいため



5

MDKグループ中長期ビジョン
グローバルビジョン∞
- PART II -

成長目標



主要戦略

グローバルビジョン∞ 主要戦略(概要)



既存事業の強化と
新規事業進出

設備投資計画 150億円
(4年間合計)



M&A活用による
事業領域拡大

M & A 投資枠 200億円
(4年間合計)



グローバル
ネットワーク拡充

海外売上比率 30%
(2027年度目標)

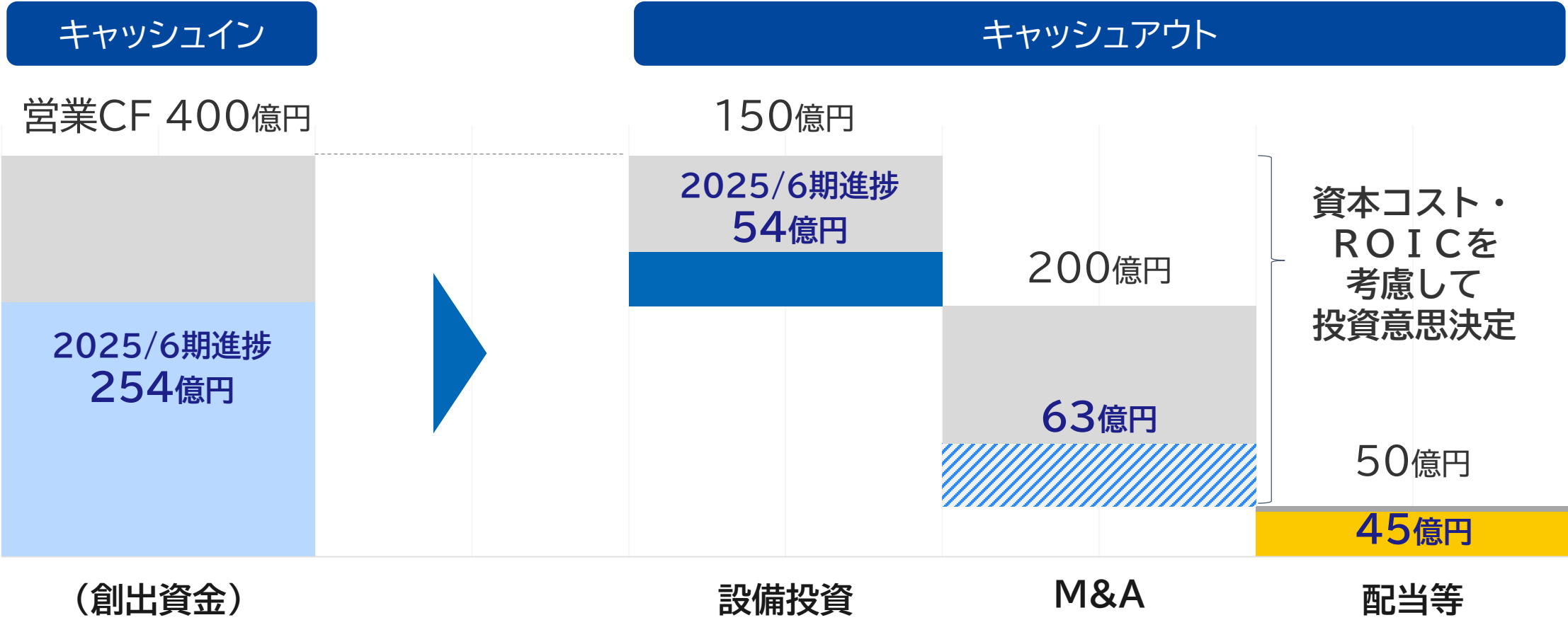


ESG+H

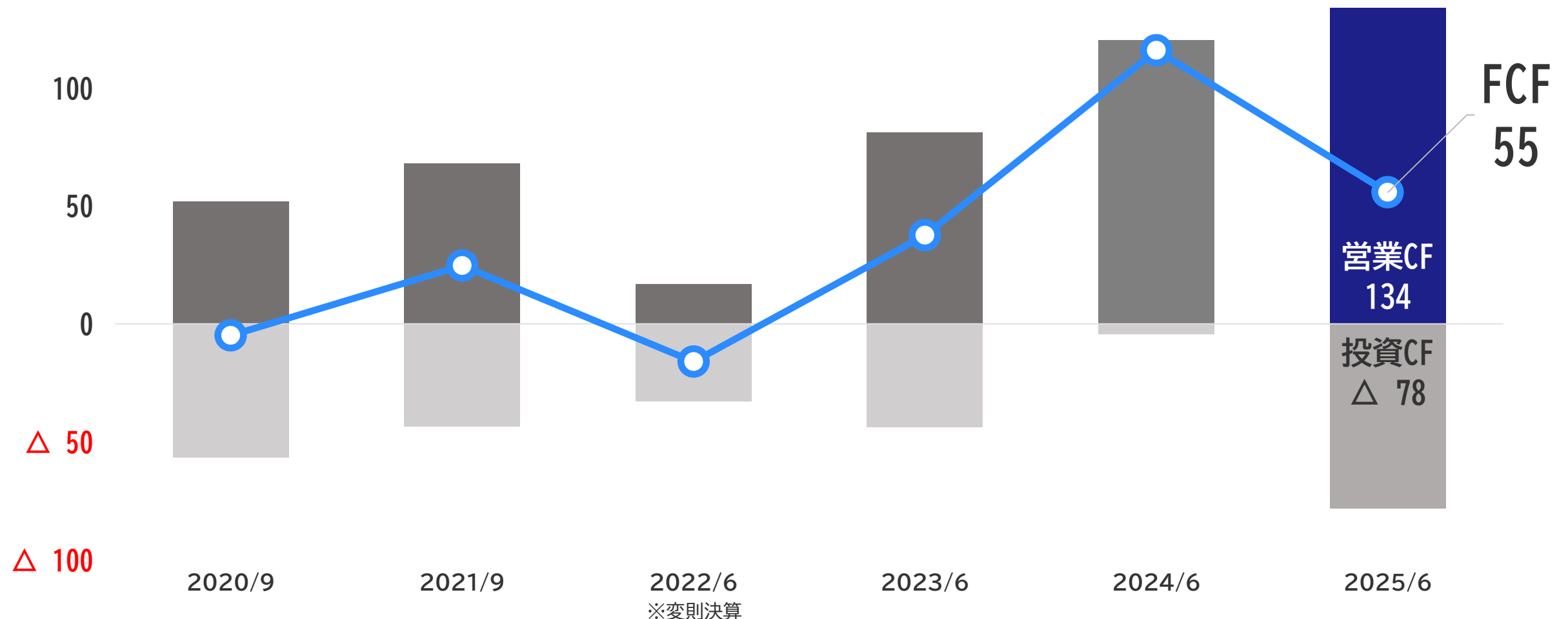
- 太陽光発電利用拡大
- エンゲージメント強化

キャッシュアロケーション

中計PART-Ⅱ-期間(2024年6月期～2027年6月期)合計額(見込み)に対する進捗

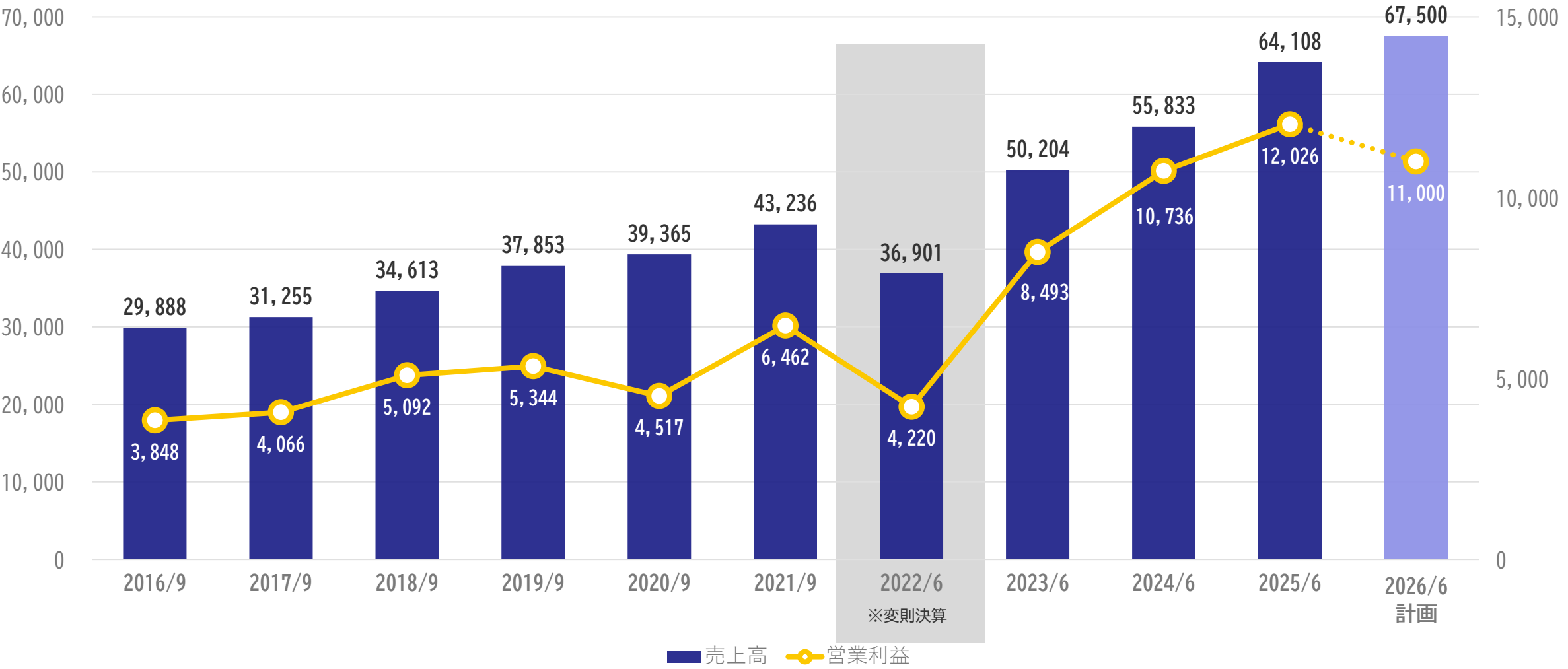


フリーキャッシュ・フロー(FCF)推移



※フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー－投資活動によるキャッシュ・フロー
※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

連結業績推移(売上高・営業利益)



M&A企業一覧

	取得年	会社名		取得年	会社名		取得年	会社名
1	2002年	太田工業 ※前田工織に合併	8	2013年	ワシ興産、ワシマイヤー ※現 BBSジャパン	15	2021年	セブンケミカル
2	2004年	ゼオン環境資材 ※前田工織が事業譲受け	9	2014年	ダイイチ ※未来コーセンに合併	16	2024年	犀工房
3	2005年	日本不織布 ※日本不織布が事業譲受け、前田工織に合併	10	2015年	オガワテクノ ※未来テクノが事業譲受け	17	2025年	三井化学産資 ※前田工織産資に商号変更
4	2009年	サングリーン ※前田工織に合併	11	2016年	グリーンシステム ※未来のアグリに合併			
5	2009年	マグネ ※前田工織に合併	12	2018年	釧路ハイミール			
6	2011年	北原電牧 ※現 未来のアグリ	13	2019年	沖縄コーセン ※会社設立			
7	2012年	テクノス ※現 未来コーセン	14	2021年	エスケー電気工業 ※現 未来のアグリ			

数値目標(2024年6月期～2027年6月期)

	2023年6月期 (PART I) 実績	2024年6月期 実績	2025年6月期 実績	2026年6月期 計画	2027年6月期 計画
売 上 高	502 億円	558 億円	641 億円	675 億円	700 億円
営 業 利 益	84 億円	107 億円	120 億円	110 億円	120 億円
E B I T D A	116 億円	141 億円	155 億円	147 億円	150 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円	79 億円	94 億円	76 億円	80 億円
R O E	12.4 %	15.1 %	14.5 %	10.7 %	12 %以上

前田工繊グループの新たな営業管理体制→“予材管理”

- 予材管理 …将来の案件を“見える化” 過去の数字ベースから未来の数字ベースに
- 予材は全て社内にオープン **年5%以上の成長を目指せる予材造り**
- 予材が正しく資産化 → **営業の心に余裕と自信、そして将来を読む力**
→さらに意欲的に行動する(**好循環**が生まれる)
- 予材が蓄積されればされるほど、**安定して営業目標が達成**できる

∴月次進捗と予材状況を確認、
今期も来期も予測し、手を打つ
→ **営業会議の中身も変化（定量的な議論）**



6

ご参考

当社の役割と責任(パーパス)

防災対策 新たな段階へ

「本気の事前防災」への取り組み

2010年以降、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等の大規模災害が立て続けに発生 → 自民党で「防災庁」の検討

防災＝事態対処・事前対策

特に重要なのは**事前対策の強化**

(国土強靱化に向けた新たな対策事業の編成)



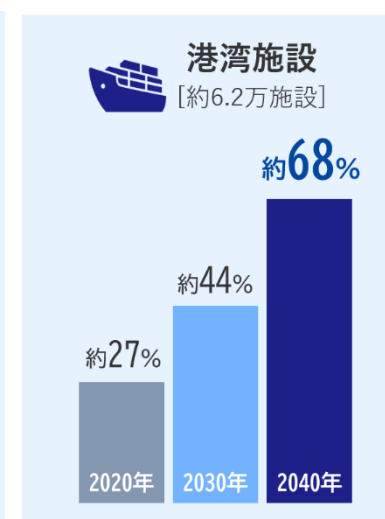
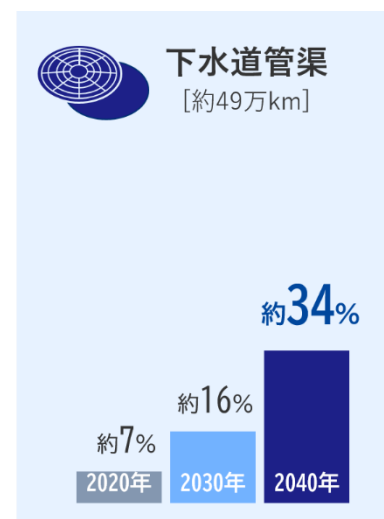
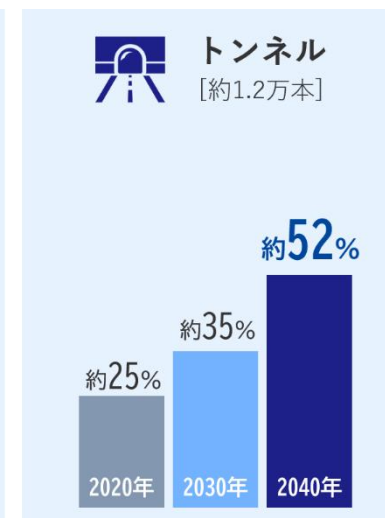
前田工繊グループも

急激な変化に対応した強固な組織
を創っていく



ご参考

建設後50年以上
経過するインフラの割合



国土交通省資料より作成

国土強靱化実施中期計画

強靱化のペース加速

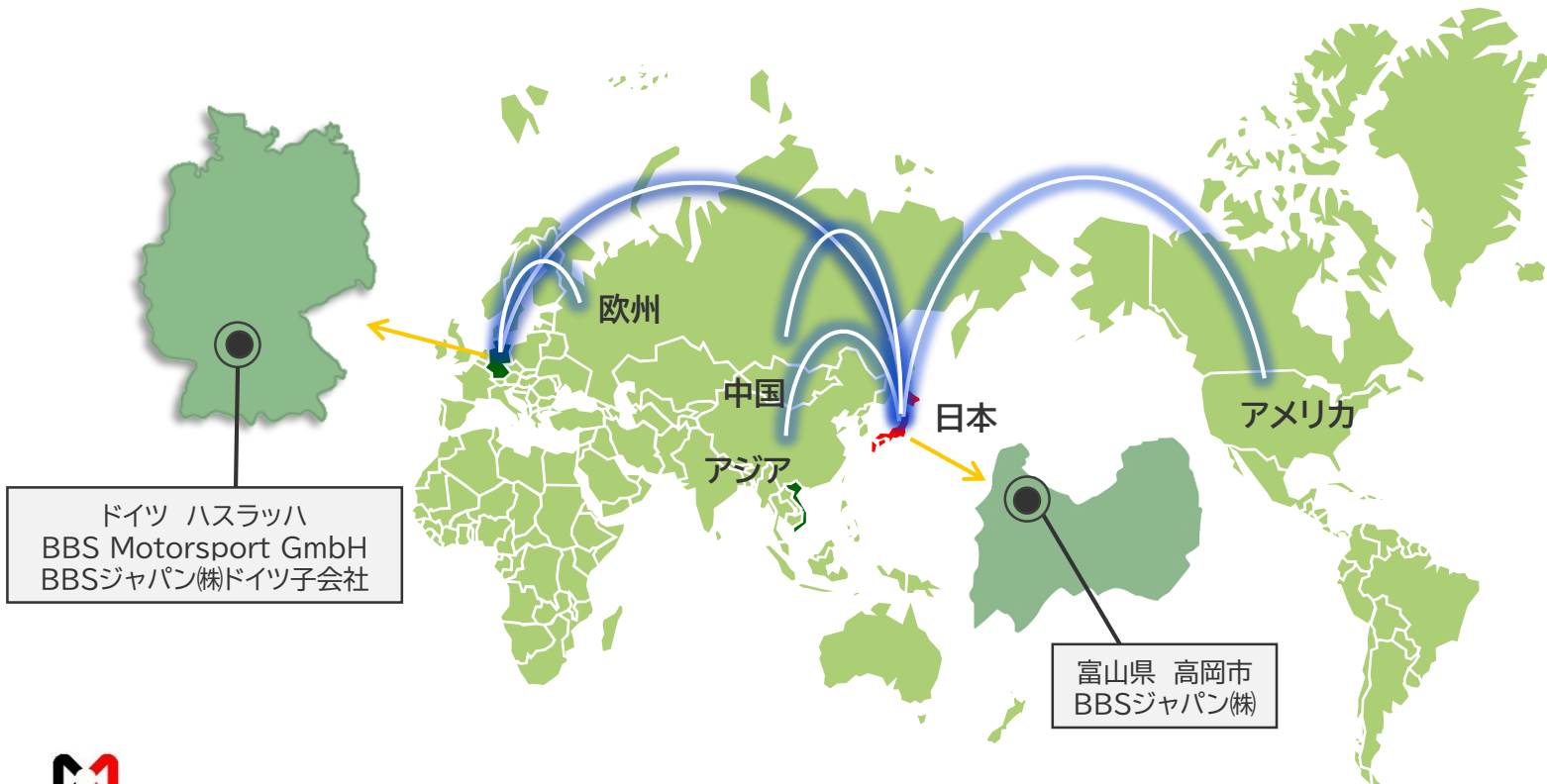
事業年度：2026～2030年度



BBS 地方都市から世界へ

モータースポーツで培った鍛造ホイール技術
→市販ホイールに活かし、世界の自動車メーカーで採用

地方創生の実現





7

会社概要

企業情報

(2025年9月30日現在)

会 社 名	前田工織株式会社		
本 社	福井本社: 福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社: 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代 表 者 名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創 業	1918年	設 立	1972年
決 算	6月30日	資 本 金	6,422百万円
従 業 員 数	1,825人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	68,080,612株 (うち自己株式 1,015,775株)		
証 券 コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単 元 株 数	100株	株 主 総 数	4,298名 (2025年6月30日現在)

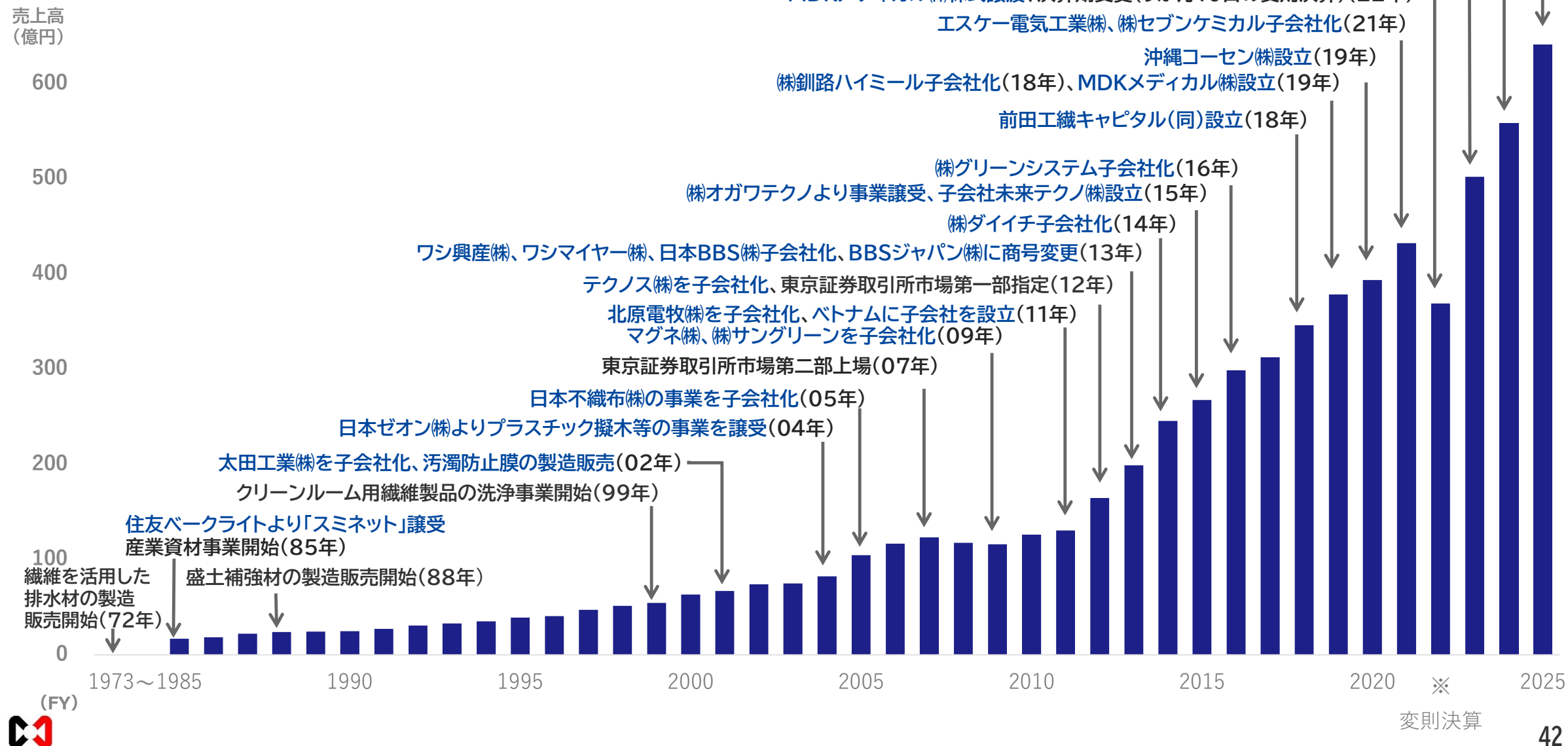


福井本社



東京本社

事業沿革と売上高推移



グループネットワーク

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:5ヶ所

福井県

福井本社・本社工場

丸岡工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

北海道

札幌支店

未来のアグリ
札幌本社
千歳工場
釧路ハイミール 本社

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ
水沢工場・胆沢工場
未来のアグリ
福島本社・瀬上工場

関東

東京本社

前田工織産資
本社
埼玉事業所
未来テクノ 東京本社
セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社
前田工織キャピタル合同会社 東京本社

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場
犀工房 本社

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所
沖縄コーセン



ドイツ

ハスラッハ

ベトナム

バクニン省

BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限会社)



● 事業所
■ 工場

本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 経営管理本部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>